



香美市立美術館では、収蔵作品をより楽しんでいた

より深く作品の世界を味わうことができます。

「対話する絵画」展を開催します。これは、見た目やテーマが似ている作品を並べて展示することで、その作品の魅力をもっと引き出せるのではないかと考えて企画したものです。

展示会場では作品を見る場合、1点ずつじっくり見ることが普通です。しかし、2点以上の作品をセットで展示して比べながら見ると、

より深く作品の世界を味わうことができます。

られるようです。このように、比べて見ることによって作品の特徴が鮮明になり、これまで以上に深く豊かな鑑賞ができるのではないのでしょうか。

今回は、県立美術館の協力で、上島一司、中島敬朝、石川寅治らの名品を展示し、充実した内容で皆さんのご来場をお待ちしています。

(館長・都築房子)

比べる楽しみ 対話する絵画

4月13日(土)～5月19日(日)

休館日／毎週月曜日、5月7日(火)
(ただし4月29日、5月6日は開館)

博の『栗と籠』に対する平賀亀祐の『コルシカ島の果物』。それぞれの画家としての立場の違いや、日本とフランスの気候風土の違いまでもが作品から感じ

また、中村博の『栗と籠』に対する平賀亀祐の『コルシカ島の果物』。それぞれの画家としての立場の違いや、日本とフランスの気候風土の違いまでもが作品から感じ



▲白いパラソルの下／上島一司(1954年)



▲録音／上島一司(高知県立美術館所蔵)

平成31年度 香美市立美術館
展覧会年間スケジュール

【第80回企画展】

比べる楽しみ 対話する絵画

会期 4月13日(土)～5月19日(日)

【第81回企画展】

西原理恵子展 人生はおきやく

会期 6月8日(土)～7月28日(日)

【第82回企画展】

香美アートアニマル vol.7 時代の変化を越えて

会期 8月7日(水)～9月1日(日)

【第83回企画展】

中田耕一展 和紙と墨の世界

会期 9月7日(土)～10月14日(月・祝)

【第84回企画展】

小さな布の表現者 伊与木潤子展 昭和の時を駆ける創作押絵の世界

会期 10月26日(土)～12月22日(日)

【第85回企画展】

美術の森へようこそ

会期 平成32年2月8日(土)～3月22日(日)

※スケジュールは都合により変更になる場合があります。

第16回吉井勇顕彰短歌大会

【受賞作品】

一般の部

吉井勇大賞

湯気に食ふ古き飯屋のしらす井蒲生田岬に冬の虹映ゆ

吉井勇賞

灘五郷の旅に来て酌む蔵元の樽の杉の香酒をすすます

玉井清弘賞

手作りのこんにやく持ちて訪ね来し教え子ありて笑みのこぼる

井上佳香賞

さよならの言葉は耳から脳へ行きそれからドオンと内臓にきた

佳作

ICU十三本の管下り眠れる夫の命を計る

牛飼ひの村の祭りに児童らは牛の親子の雪像を作る

【受賞作品】

中高生の部

吉井勇大賞

歌声にかくされていた涙声気付かなかった気付きたかった

吉井勇賞

夏休み友とバイクでツーリング地図で見るより高知は広い

玉井清弘賞

大きいと思った牛が本当は子どもと知って驚愕の春

井上佳香賞

恋したり青春したり悲しんだり私と同じ香北の自然

佳作

服飾の検定中に周りから私を焦らすミシンの音よ

当選のハガキ郵便受けに無くいつまで経っても死なない金魚

【受賞作品】

小学生の部

吉井勇大賞

火曜日に水ぞくかんに行ってみたプールのサメがトンカチみたい

吉井勇賞

けん道で母のおうえん聞こえるよきたいにこたえようしよう目ざす

玉井清弘賞

われガラスぼっかり空いたその中にぼんやり見えた心のあなが

井上佳香賞

なきながらおぼえたかん字何の字が三回めで百点になる

佳作

先生はいい残りさせてつかねない？つかれてるのなら残りやめて

マフラーを首にまいてリラックスそれをとろうと先生登場

おるすばん母ちゃん来たぞ帰ったぞひとりぼっちが消えてくぞ